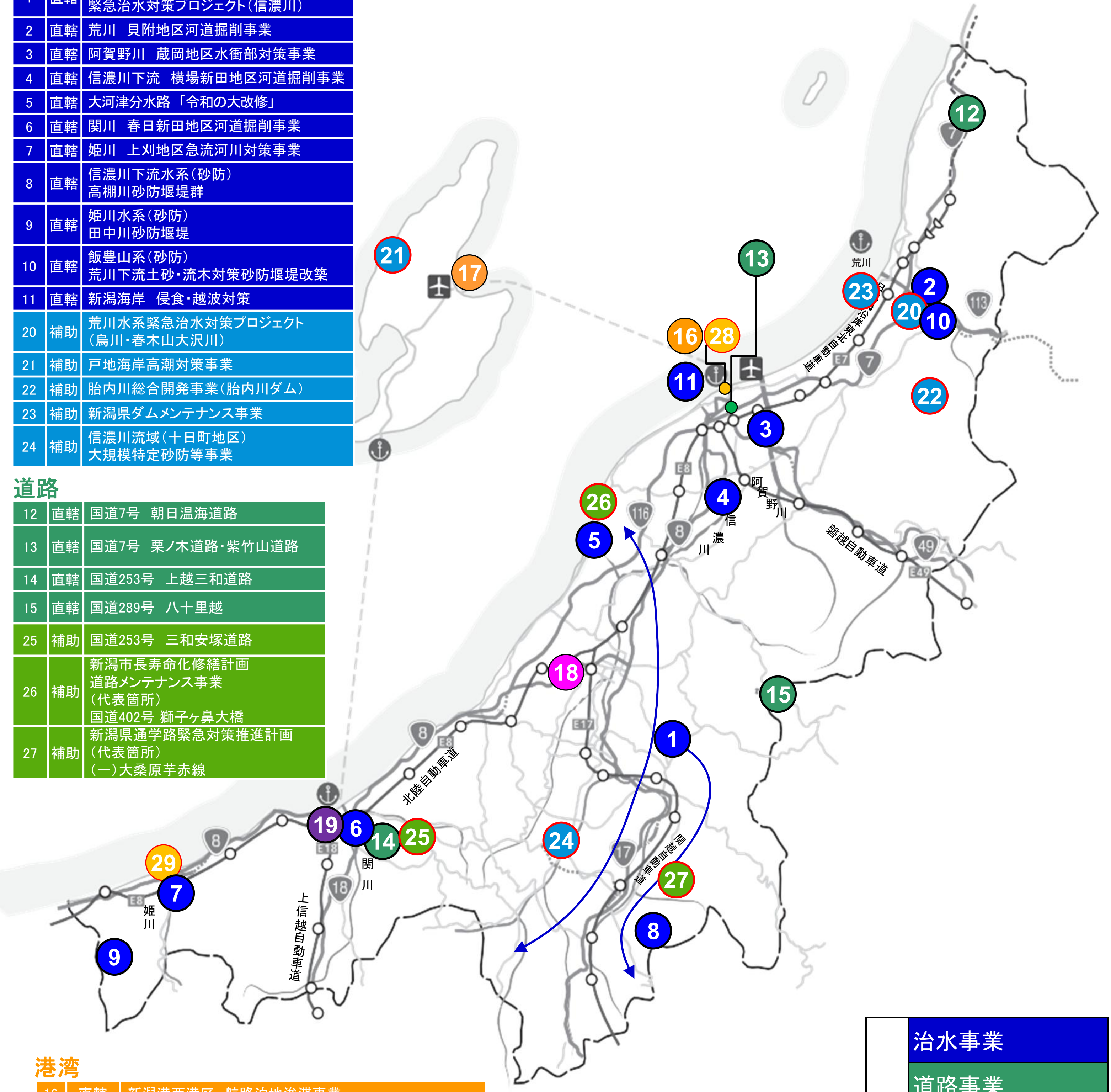
新潟県内の主要事業



治水

1	直轄	信濃川水系 緊急治水対策プロジェクト（信濃川）
2	直轄	荒川　貝附地区河道掘削事業
3	直轄	阿賀野川　蔵岡地区水衝部対策事業
4	直轄	信濃川下流　横場新田地区河道掘削事業
5	直轄	大河津分水路「令和の大改修」
6	直轄	関川　春日新田地区河道掘削事業
7	直轄	姫川　上刈地区急流河川対策事業
8	直轄	信濃川下流水系（砂防） 高棚川砂防堰堤群
9	直轄	姫川水系（砂防） 田中川砂防堰堤
10	直轄	飯豊山系（砂防） 荒川下流土砂・流木対策砂防堰堤改築
11	直轄	新潟海岸　侵食・越波対策
20	補助	荒川水系緊急治水対策プロジェクト （烏川・春木山大沢川）
21	補助	戸地海岸高潮対策事業
22	補助	胎内川総合開発事業（胎内川ダム）
23	補助	新潟県ダムメンテナンス事業
24	補助	信濃川流域（十日町地区） 大規模特定砂防等事業

道路

12	直轄	国道7号　朝日温海道路
13	直轄	国道7号　栗ノ木道路・紫竹山道路
14	直轄	国道253号　上越三和道路
15	直轄	国道289号　八十里越
25	補助	国道253号　三和安塚道路
26	補助	新潟市長寿命化修繕計画 道路メンテナンス事業 （代表箇所） 国道402号 獅子ヶ鼻大橋
27	補助	新潟県通学路緊急対策推進計画 （代表箇所） （一）大桑原芋赤線

港湾

16	直轄	新潟港西港区　航路泊地浚渫事業
17	直轄	両津港湊地区　岸壁改良事業
28	補助	新潟港西港区　岸壁改良事業
29	補助	姫川港西ふ頭地区　国内物流ターミナル整備事業

国営公園

18	直轄	国営越後丘陵公園

官庁営繕

19	直轄	上越地方合同庁舎

凡例	
	治水事業
	道路事業
	港湾事業
	国営公園事業
	官庁営繕事業
	直轄事業
	補助事業

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（信濃川）※1の推進

新潟県小千谷市　他

R7補正事業費
2,699百万円※2

※2:信濃川の河川等災害関連事業費（大規模）のR7補正全体事業費の合計

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に推進します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の３つを柱として取り組んでいきます。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）

③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

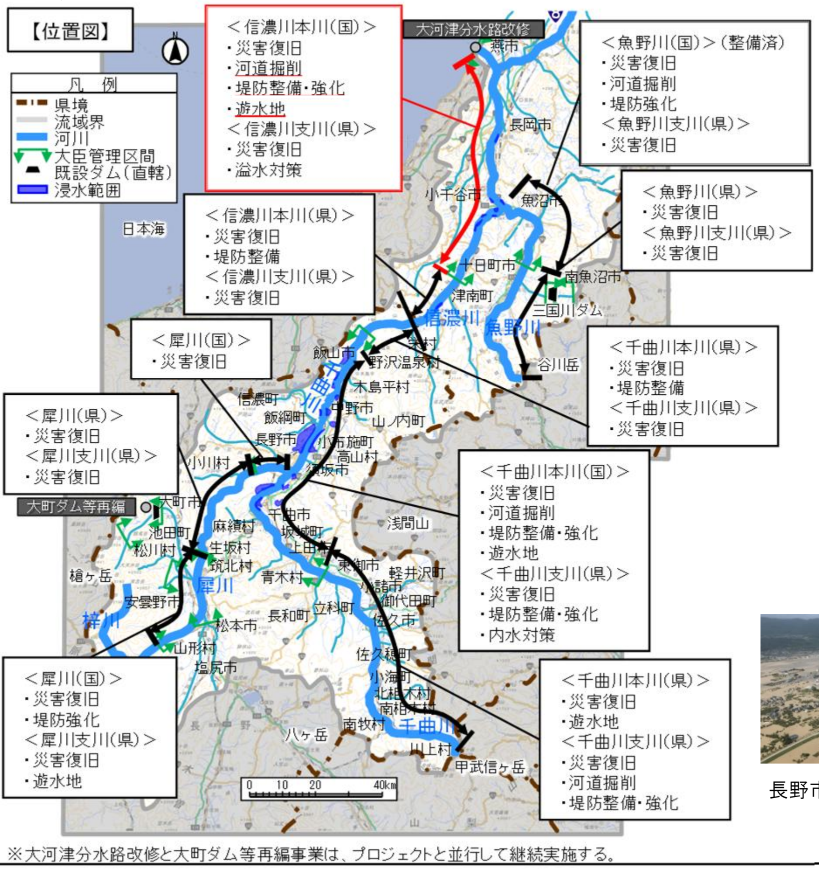
関係機関が連携し、上記の３つの取組を推進し、「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和７年度補正の事業内容

補正予算の充当により、信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（信濃川）の「河川における対策」の内、水位低減を図る河道掘削および遊水地を推進します。

～ みんなで つなぐ しなの の川 ～

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト　～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進 ～



■河川における対策
・河道掘削、遊水地、堤防整備・強化

■流域における対策
・ため池等既存施設の補強や有効活用
・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
・学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
・排水機場等の整備、耐水化の取組
・防災拠点等の整備

■ソフト施策
・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
・高床式住まいの推進
・マイ・タイムラインの普及
・公共交通機関との洪水情報の共有
・住民への情報伝達手段の強化

長野市穂保地先の堤防決壊、浸水被害状況

新潟県小千谷市内における浸水被害状況

※1:「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」
➢ 緊急治水対策プロジェクトの内容を更新しました。詳細は下記にてご覧いただけます
http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinanogawakinkyutisuitaisaku/sinanogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

荒川　貝附地区河道掘削事業　の推進
新潟県村上市

R7補正事業費
239百万円※1

※1:荒川河川改修事業のR7補正全体事業費

事業の概要

荒川中流部の貝附地区は、堤防決壊時の想定被害も大きく、事業実施の重要性・緊急性が高い箇所となっており、河道掘削を実施し水位低減を図る必要があります。
荒川水系における流域治水の一環として、荒川（貝附地区）において河道掘削等を推進します。

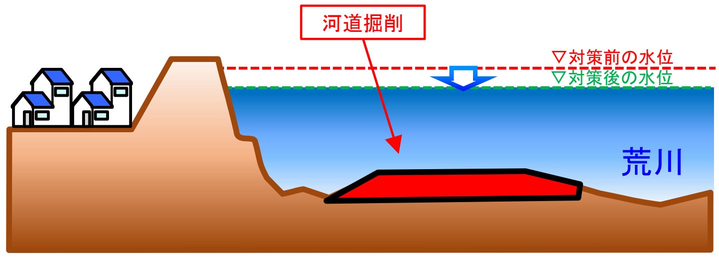
整備効果

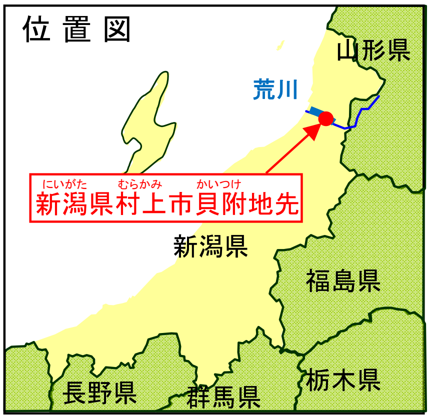
河道掘削等の推進により、荒川流域の治水安全度を向上させます。

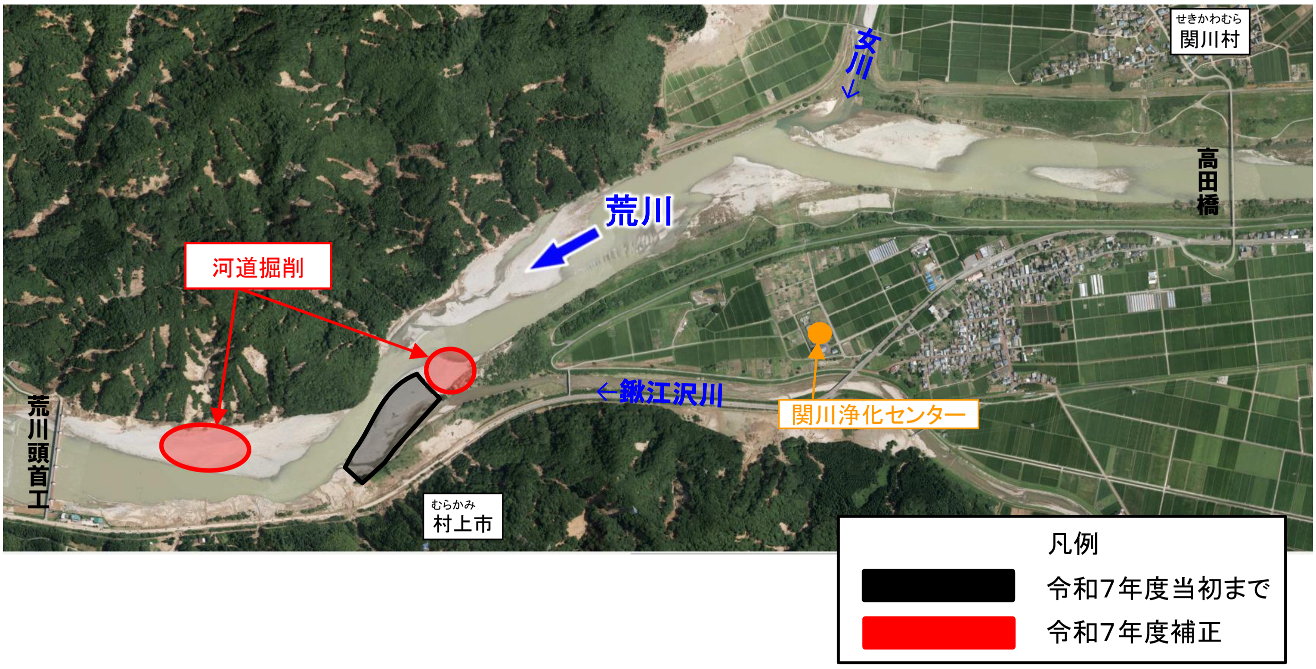
令和７年度補正の事業内容

補正予算の充当により、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、貝附地区の河道掘削を推進します。

整備イメージ図







➢ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html

阿賀野川　蔵岡地区水衝部対策事業　の完成

新潟県新潟市

R7補正事業費
593百万円※1

※1:阿賀野川河川改修事業のR7補正全体事業費

事業の概要

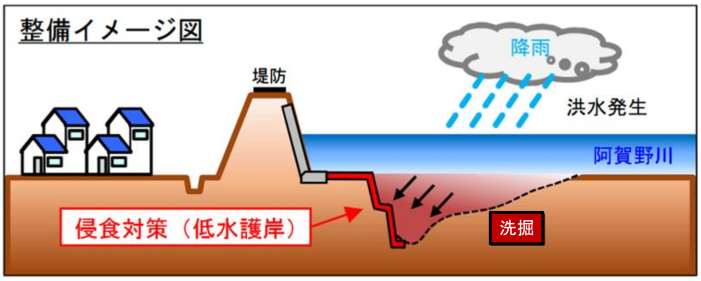
新潟市周辺の低平地を流れる阿賀野川は、流路の蛇行が著しく、湾曲部では水の流れが強くあたる水衝部となっており、河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。ひとたび堤防が決壊し氾濫すると新潟市中心部を含む広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。
阿賀野川水系における流域治水の一環として、阿賀野川（蔵岡地区）において侵食対策等を推進します。

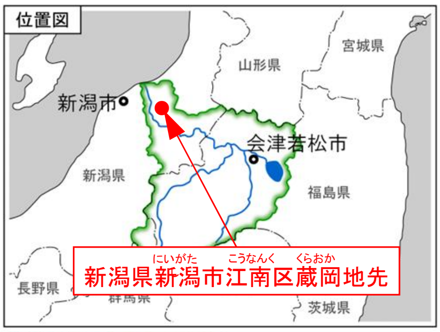
整備効果

侵食対策等の推進により、阿賀野川流域の治水安全度を向上させます。

令和７年度補正の事業内容

補正予算の充当により、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、蔵岡地区の侵食対策（低水護岸）を完成させます。





➢ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html

信濃川下流　横場新田地区河道掘削事業　の推進

新潟県南蒲原郡田上町

R7補正事業費
1,265百万円※1

※1：信濃川下流河川改修事業のR7補正全体事業費

事業の概要

信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨において、本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となったことから、洪水時の水位を低減し、洪水時の安全な流下を図るため、河道掘削を実施しています。

この河道掘削による水位低減は、信濃川本川に加え、平成23年7月の出水で堤防高近くまで水位が上昇した支川（五十嵐川・中ノ口川）の水位低減にもつながるものです。

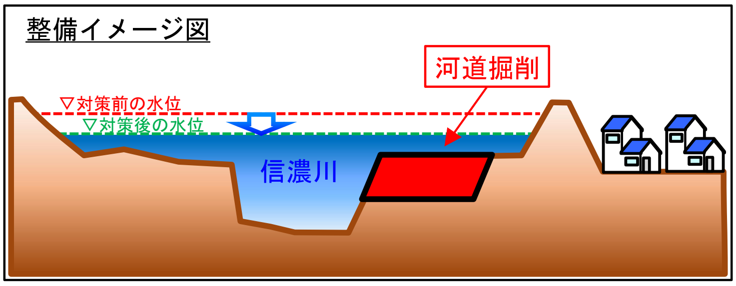
信濃川水系における流域治水の一環として、信濃川下流（横場新田地区）において河道掘削等を推進します。

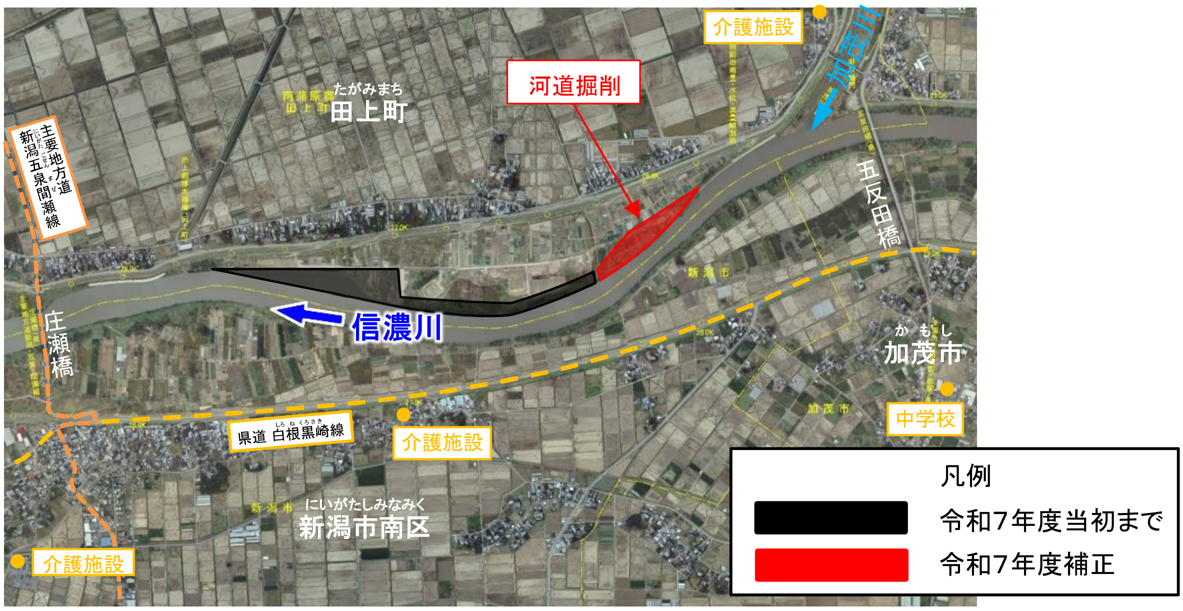
整備効果

河道掘削等の推進により、信濃川流域の治水安全度を向上させます。

令和７年度補正の事業内容

補正予算の充当により、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、横場新田地区の河道掘削を推進します。





➢ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html

信濃川　大河津分水路　「令和の大改修」　の推進

新潟県長岡市・燕市

R7補正事業費
5,100百万円※1

※1:信濃川（大規模）河川改修事業のR7補正全体事業費（大河津分水路改修）

事業の概要

大河津分水路は信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年（1922年）に通水した延長約10kmの人工の放水路ですが、河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足しています。平成23年７月洪水、令和元年東日本台風による洪水では、分水路直上流及び分水路区間で計画高水位を超過し、危険な状態となりました。また、分水路建設後90年以上が経過し、施設の老朽化・機能低下も顕著になっています。

大河津分水路より上流側に位置する信濃川中流部や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路にて「令和の大改修」として平成27年度より着手しています。

「令和の大改修」では、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築、橋梁架替等を実施することとしています。

信濃川水系における流域治水の一環として、信濃川（大河津分水路地区）において大河津分水路「令和の大改修」を推進します。

整備効果

大河津分水路「令和の大改修」により信濃川水系の治水安全度を向上させます。

令和７年度補正の事業内容

補正予算の充当により、山地部掘削、低水路掘削を推進し、「令和の大改修」の事業進捗を図ります。

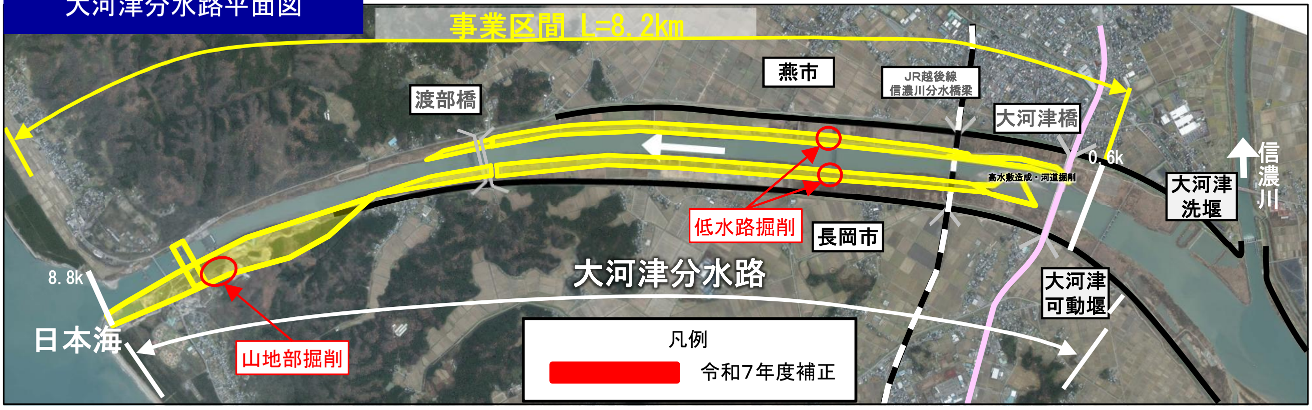
流下断面が不足し、抜本的な改修が必要な大河津分水路

大河津分水路の状況（令和元年東日本台風）

第二床固副堰堤付近の状況
（令和元年10月13日16時頃）

JR越後線信濃川分水橋梁付近の状況
（令和元年10月13日12時頃）

大河津分水路平面図



➢ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html

関川　春日新田地区河道掘削事業　の着手

新潟県上越市

R7補正事業費
115百万円※1

※1:関川河川改修事業のR7補正全体事業費

事業の概要

　関川の春日新田地区は背後地に市街地（上越市）を抱える重要な地域となっています。
　当該地区で堤防の決壊による洪水氾濫が発生した場合には、市街地が浸水し、甚大な被害になることが予想されます。
　関川水系における流域治水の一環として、関川（春日新田地区）において河道掘削を推進します。

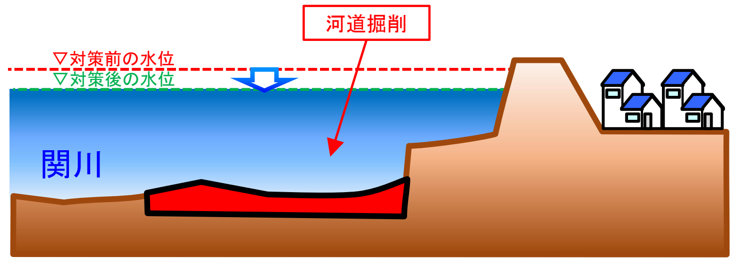
整備効果

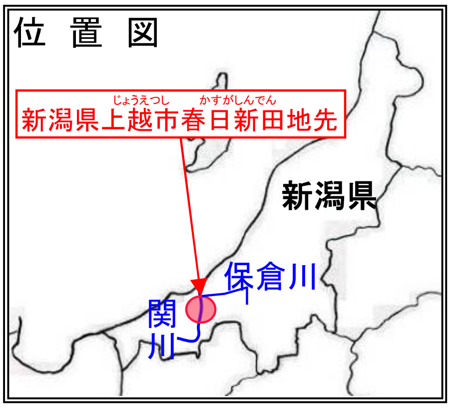
　河道掘削等の推進により、関川流域の治水安全度を向上させます。

令和７年度補正の事業内容

　補正予算の充当により、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、春日新田地区の河道掘削に着手します。

整備イメージ図





凡例	
■	令和7年度補正

➢ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html

姫川　上刈地区急流河川対策事業　の推進

新潟県糸魚川市

R7補正事業費
76百万円※1

※1：姫川河川改修事業のR7補正全体事業費

事業の概要

　姫川は、糸魚川市内を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたび氾濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

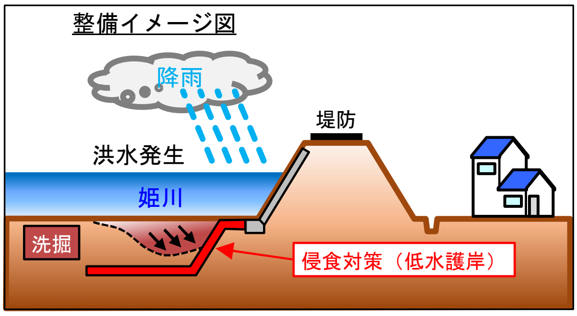
　姫川水系における流域治水の一環として、姫川（上刈地区）において堤防侵食対策を推進します。

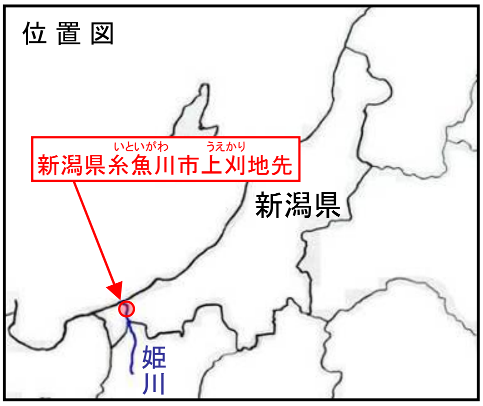
整備効果

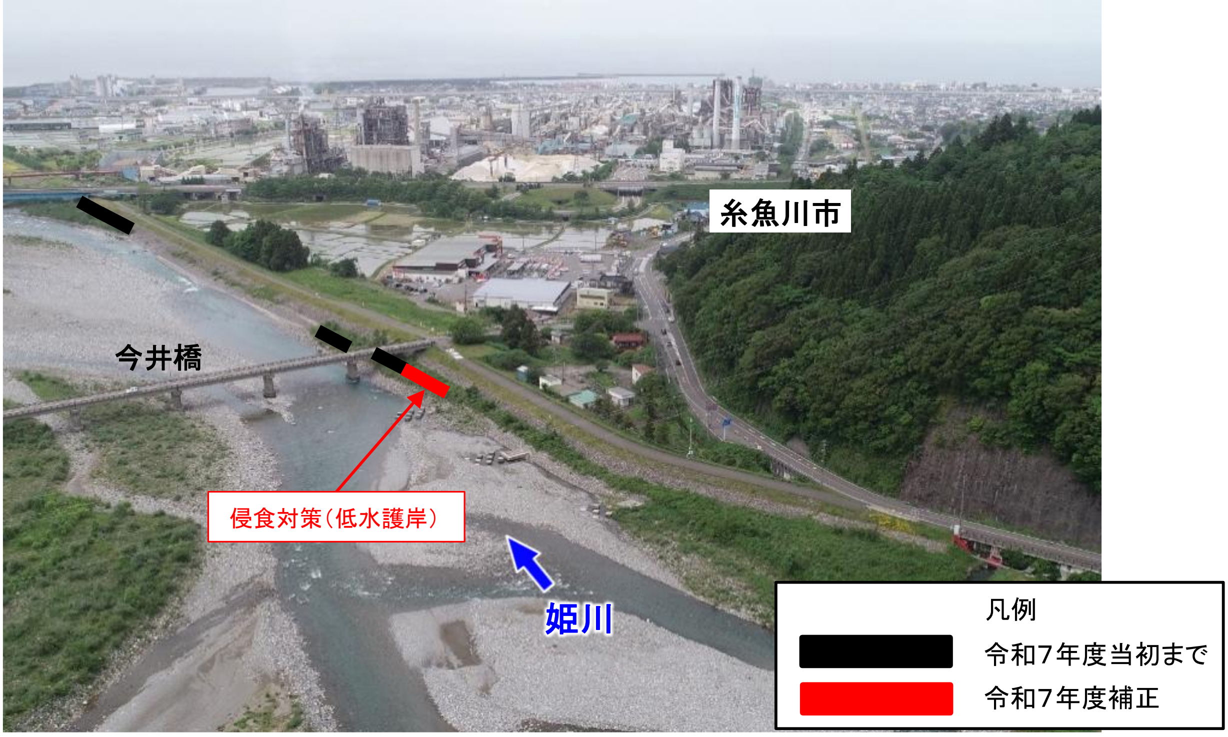
　侵食対策等の推進により、姫川流域の治水安全度を向上させます。

令和７年度補正の事業内容

　補正予算の充当により、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、上刈地区の堤防の侵食対策（低水護岸）を推進します。







➢ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html

信濃川下流水系直轄砂防事業の推進

新潟県南魚沼市（高棚川砂防堰堤群）

R7補正事業費
125百万円

事業の概要

信濃川下流水系の魚野川流域は、平成23年７月の新潟・福島豪雨によって発生した多量の不安定な土砂が河床内に堆積しており、昨今の気候変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

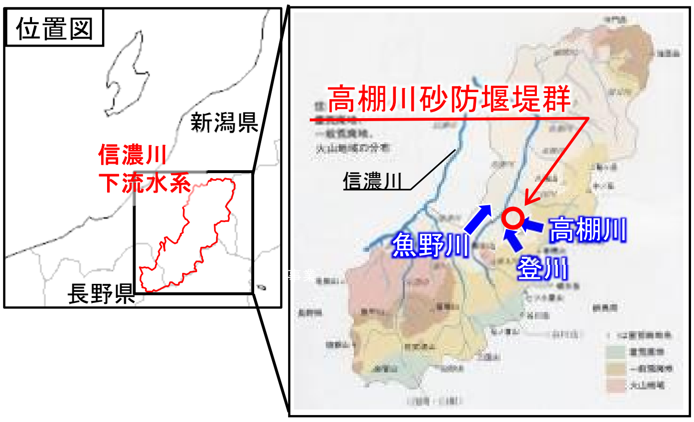
高棚川砂防堰堤群では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、国土強靱化実施中期計画により、砂防堰堤群の整備を実施します。

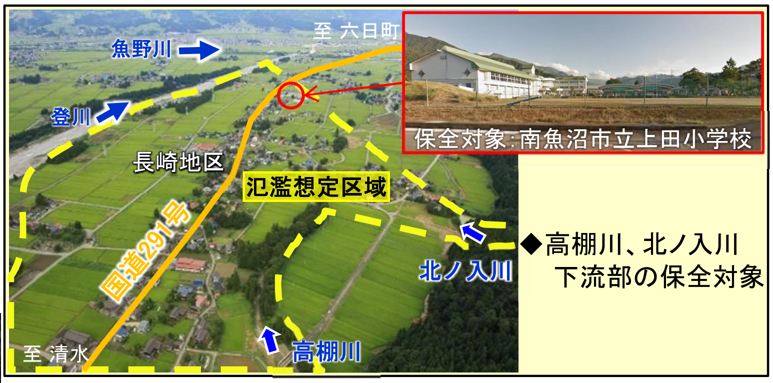
整備効果

砂防堰堤工の整備により、保全対象である集落や国道を土石流による被害から保全するとともに、信濃川下流水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である南魚沼市をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、長崎地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。





◆高棚川、北ノ入川
下流部の保全対象

◆平成23年7月
既設林道の
被災状況

姫川流域直轄砂防事業の推進
新潟県糸魚川市（田中川砂防堰堤）

R7補正事業費
50百万円

事業の概要

田中川は荒廃が著しく、土砂生産が活発な渓流である。洪水に伴う大量の土砂流出が発生した場合、下流の集落では土砂氾濫が想定される。また、平成２８年８月には、土石流による下流域への被害が発生しており、渓流内には山腹や渓岸から生産された不安定土砂が堆積している。そのため、土砂流出抑制・調節を行う田中川砂防堰堤の整備を実施する。

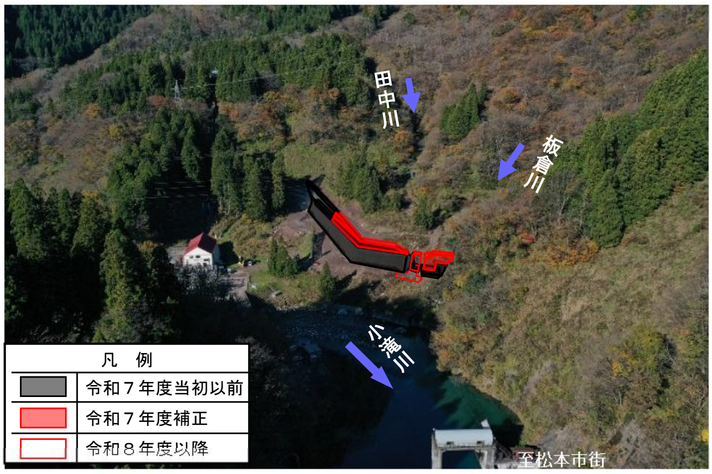
整備効果

砂防堰堤工の整備により、姫川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である糸魚川市を始めとした下流の沿川地域における安全と安心を確保します。

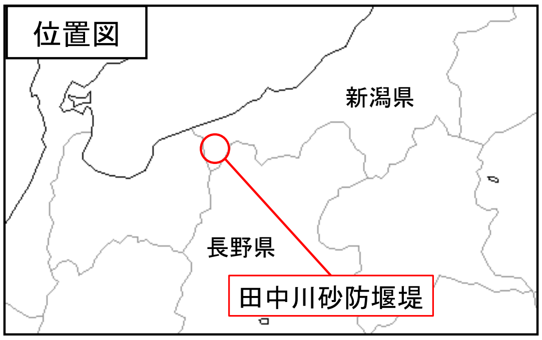
令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、小滝地区において砂防堰堤工の整備を推進します。

事業箇所の全景

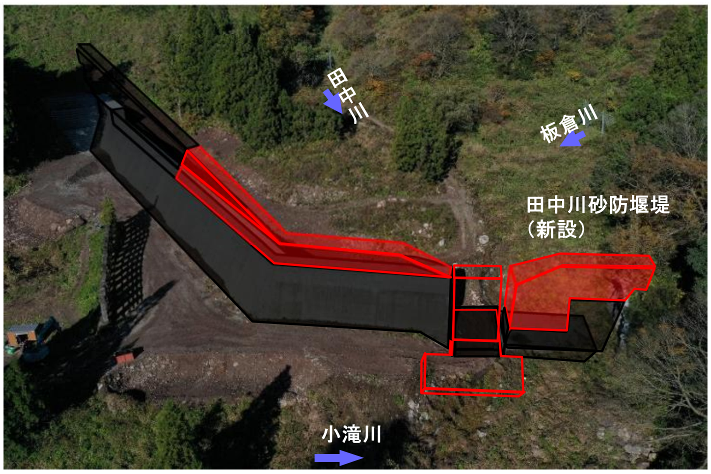


位置図



◆下流部の保全対象

事業箇所の近景



◆平成28年8月の
土砂流出状況

飯豊(いいで)山系(さんけい)直轄砂防事業の推進

新潟(にいがた)県岩船(いわふね)郡関川(せきかわ)村、胎内(たいない)市
（荒川(あらかわ)下流土砂・流木対策砂防堰堤改築）

R7補正事業費
160百万円

事業の概要

飯豊山系(いいでさんけい)の荒川(あらかわ)流域は、荒廃が著しい渓流や崩壊した斜面が多数存在し、河床には不安定な土砂や流木が大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

令和４年８月３日からの大雨により、山腹崩壊や土石流が多発しましたが、既設の砂防堰堤によって土砂・流木を捕捉し、下流への被害を軽減しました。

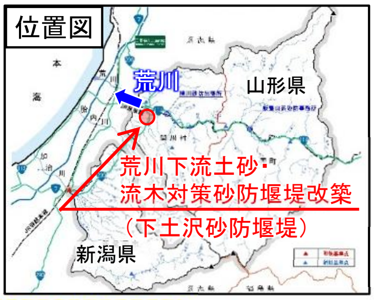
荒川(あらかわ)下流土砂・流木対策砂防堰堤改築では、「流域治水」の一環として、土砂及び流木による下流への氾濫被害を防止するため、国土強靱化実施中期計画により砂防堰堤の機能向上を目的とした改築を実施します。

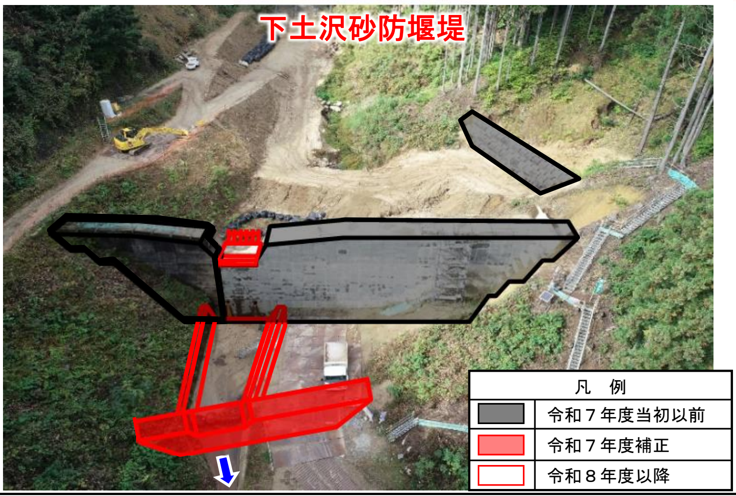
整備効果

砂防堰堤の改築により、飯豊山系(いいでさんけい)の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である岩船(いわふね)郡関川(せきかわ)村並びに胎内(たいない)市をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、下土沢(しもつちざわ)、田麦(たむぎ)、持倉(もちくら)地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。





新潟海岸　侵食・越波対策　の推進（金衛町工区）

新潟県新潟市

R7補正事業費
621百万円※

※新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業のR7補正全体事業費

事業の概要

新潟海岸金衛町工区（延長約２．９km）は、海岸侵食の進行が著しく、災害が発生した場合、新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあります。また、周辺海岸は海水浴等の利用が盛んであり、古くから地域に親しまれてきました。

このことから、広域にわたる侵食制御と砂浜の安定を図るため、平成１９年度から直轄海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を実施しています。

信濃川水系における流域治水の一環として、海岸保全施設の整備を推進します。

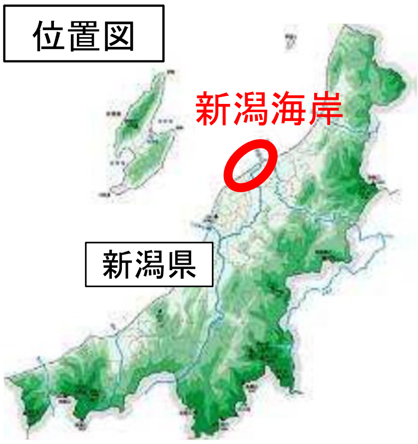
整備効果

海岸保全施設整備を推進することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、金衛町工区においてヘッドランド等の整備を推進します。

位置図



金衛町工区被災状況（平成18年9月）

凡　例	
令和７年度当初まで	■（黒）
令和７年度補正	■（赤）

➢ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html

国道７号　朝日温海道路事業の推進

新潟県村上市～山形県鶴岡市

R7補正事業費
2,330百万円※

※ R7補正事業費は北陸地方整備局分

事業の概要

朝日温海道路は、「日本海沿岸東北自動車道」の一部として、災害時の緊急輸送道路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第三次救急医療機関へのアクセス性の向上、日本海側における交流・連携強化を図ることを目的とした道路であり、新潟県内では、村上市川端から山形県境間の延長約３４．１ｋｍで事業を推進しています。

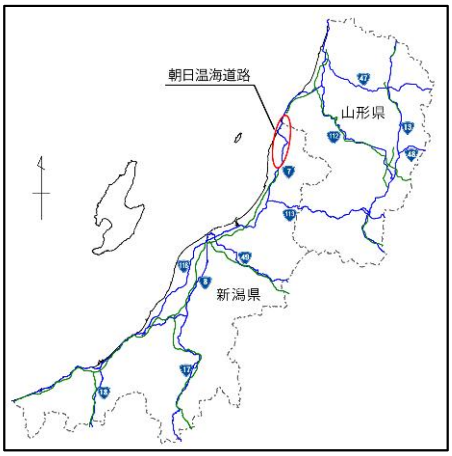
整備効果

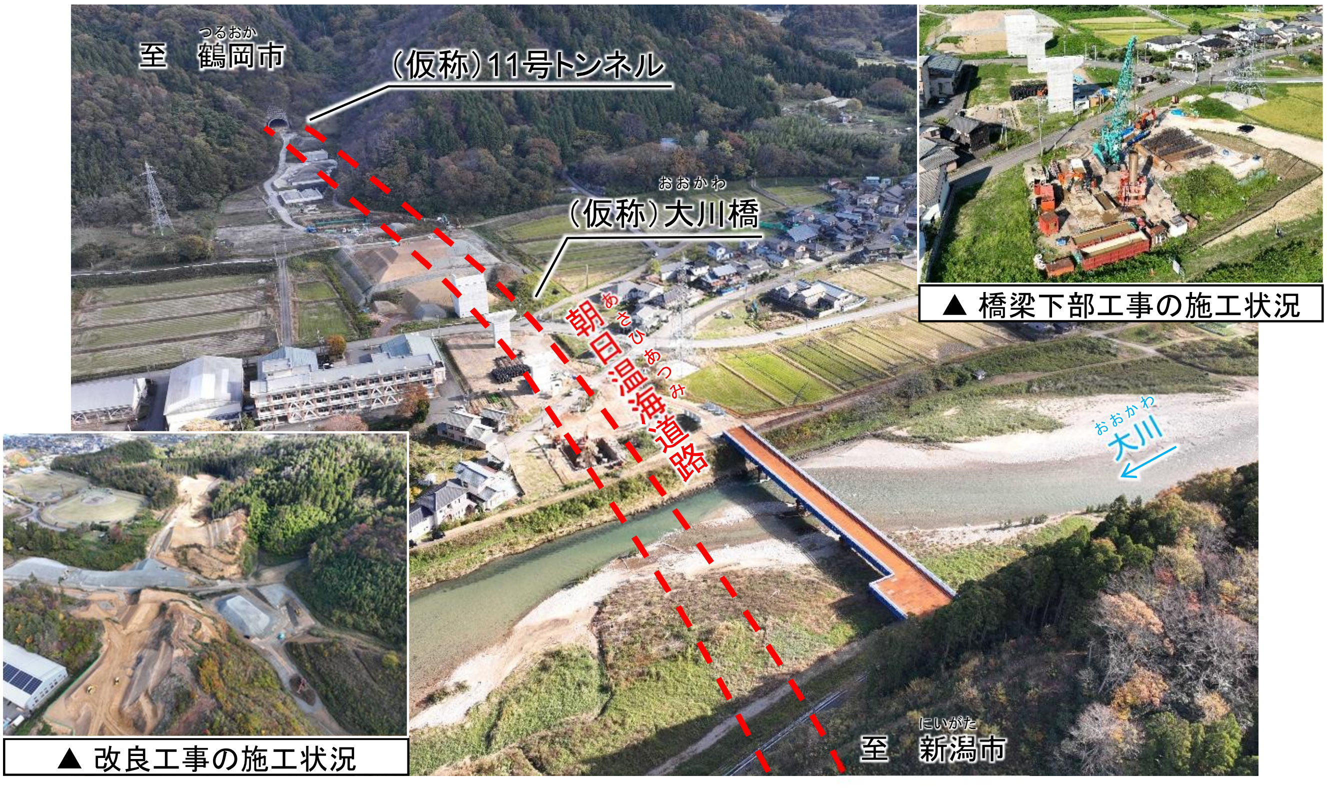
- 災害時における広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーの確保
- 第三次救急医療機関へのアクセス性向上
- 周遊性の向上による観光振興、物流の効率化による地域産業の支援

令和７年度補正予算の事業内容

朝日温海道路の新潟県区間では、現在、用地買収、改良工事、橋梁下部工事及び（仮称）２号・９号・１１号トンネル工事を推進しています。

補正予算の充当により、猿沢地区等の改良工事等及び堀之内地区の橋梁下部工事を推進することで、事業の着実な進捗を図ります。





▲ 橋梁下部工事の施工状況

▲ 改良工事の施工状況

国道７号　栗ノ木道路・紫竹山道路事業の推進

新潟県新潟市

R7補正事業費
835百万円

栗ノ木道路：435百万円
紫竹山道路：400百万円

事業の概要

栗ノ木道路及び紫竹山道路は、「新潟南北道路」の一部として、一般国道７号の新潟都心地区の慢性的な交通渋滞の緩和及び広域交通と都心地区の連携強化を図ることを目的とした、新潟市中央区沼垂東二丁目から同区紫竹山四丁目に至る延長約２．１ｋｍの道路事業です。

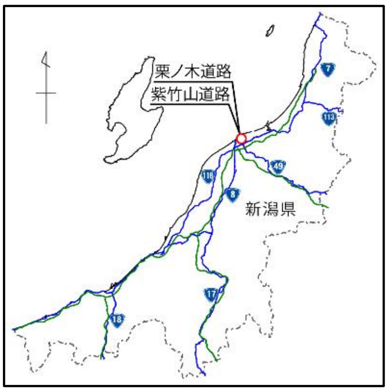
整備効果

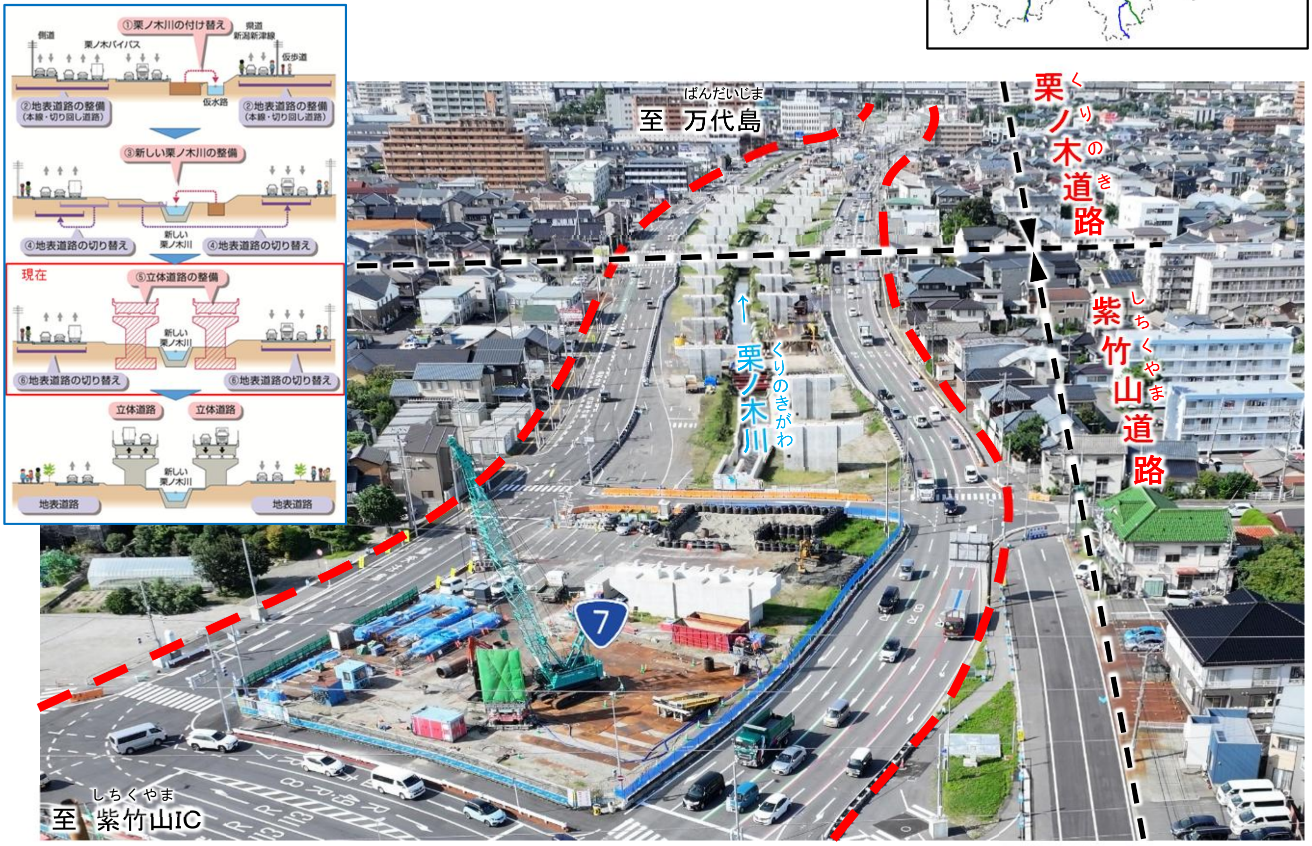
- 交通渋滞の緩和、交通事故の削減
- 新潟市の人中心のまちづくり計画を支援
- 新潟港と高速ＩＣを高規格道路で直結することによる地域産業支援

令和７年度補正予算の事業内容

現在、立体道路（（仮称）栗ノ木高架橋）の整備に向けて必要となる用地買収、改良工事及び橋梁上下部工事を推進しています。

補正予算の充当により、（仮称）栗ノ木高架橋下部工事等を推進することで、事業の着実な進捗を図ります。





国道２５３号　上越三和道路事業の推進

新潟県上越市

R7補正事業費
485百万円

事業の概要

上越三和道路は、「上越魚沼地域振興快速道路」の一部として、一般国道２５３号の冬期を含めた安全性・信頼性を確保するとともに、高速道路との連携により広域的な交流を促進し、地域の活性化に大きく寄与することを目的とする上越市寺から同市三和区本郷に至る延長約７．０ｋｍの道路事業です。

整備効果

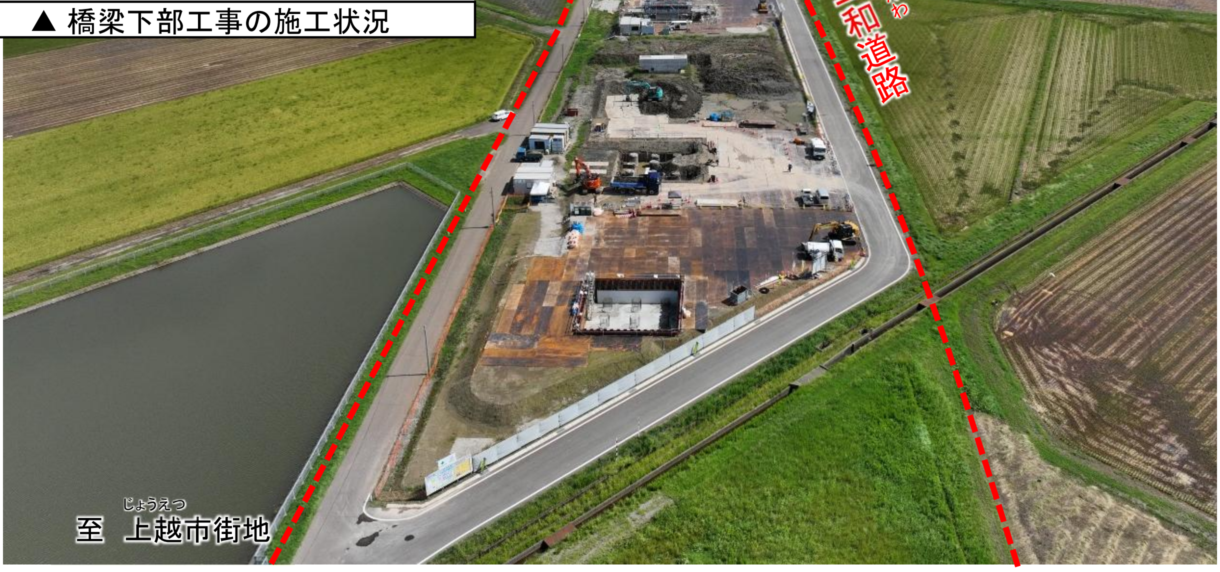
・広域的な地域の連携強化・活性化
・冬期を含めた道路交通の安全性・信頼性の確保
・第三次救急医療機関へのアクセス性向上

令和７年度補正予算の事業内容

上越三和道路では、現在、改良工事及び橋梁下部工事を推進しています。

補正予算の充当により、米岡地区の橋梁下部工事を推進することで、事業の着実な進捗を図ります。

▲ 橋梁下部工事の施工状況



国道２８９号　八十里越（はちじゅうりごえ）事業の推進

新潟県（にいがた）三条市（さんじょう）～福島県（ふくしま）南会津郡（みなみあいづ）只見町（ただみまち）

R7補正事業費
550百万円

事業の概要

八十里越（はちじゅうりごえ）は、一般国道２８９号の新潟（にいがた）・福島（ふくしま）県境における通行不能区間の解消を目的とした、新潟（にいがた）県三条（さんじょう）市塩野渕（しおのふち）から福島（ふくしま）県南会津（みなみあいづ）郡只見町（ただみまち）大字叶津（かのうつ）に至る延長１１．８ｋｍの道路事業です。

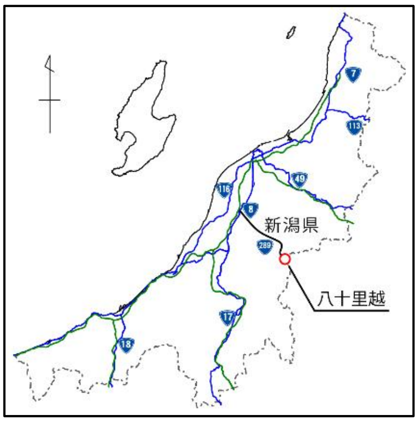
整備効果

・通行不能区間の解消
・救急医療施設へのアクセス向上
・周遊性の向上による観光振興、物流の効率化による地域産業の支援

令和７年度補正予算の事業内容

八十里越（はちじゅうりごえ）では、現在、改良工事及び舗装工事を推進しています。

補正予算の充当により、塩野渕（しおのふち）地区の改良工事等を推進することで、令和８年秋～９年夏の開通に向けて、事業の着実な進捗を図ります。



※構造物名称は全て仮称

▲改良工事の施工状況

新潟港 西港区
航路泊地浚渫事業の推進

新潟県新潟市

R7補正事業費
2,945百万円

事業の概要

新潟港西港区は、我が国最大の離島である佐渡島（両津港）との離島航路や長距離フェリーが発着するなど人流・物流の拠点として重要な役割を担っています。

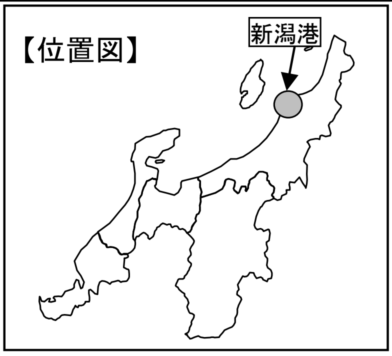
船舶の安定運航を確保するため航路泊地の浚渫事業を推進します。

整備効果

船舶の安定運航が確保されることにより人流・物流を支え、地域経済活動の維持・発展につながります。

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、航路泊地の整備を推進します。



両津港（りょうつ） 湊（みなと）地区
岸壁改良事業の推進
新潟県（にいがた）佐渡市（さど）

R7補正事業費
450百万円

事業の概要

両津港（りょうつ）は人流・物流の拠点として、我が国最大の離島である佐渡島（さど）の島民生活を支えています。

新潟港（にいがた）との間に就航するカーフェリー等が利用する岸壁（水深7.5m）は、供用開始から約50年が経過し、鋼管杭等の腐食など老朽化が進行しているとともに大規模地震等が発生した場合に施設が被災する可能性があることから、抜本的な対策が必要となっています。

老朽化対策を行うとともに、大規模地震等の発生時においても機能を確保するため、岸壁の改良及び耐震化を推進します。

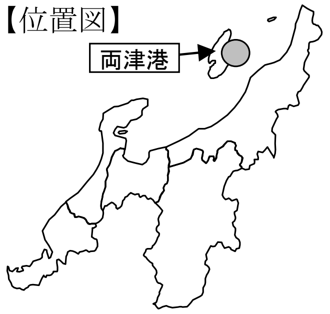
整備効果

岸壁改良及び耐震化を行うことにより、岸壁の機能が向上し、大規模地震等の発生時においても緊急支援物資等の輸送をを確保するとともに、人流・物流機能が維持されます。

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、岸壁の改良を推進します。

【位置図】



国営越後丘陵公園（こくえいえちごきゅうりょう）
新潟県長岡市（にいがた ながおか）

R7補正事業費
267百万円

事業の概要

国営越後丘陵公園（こくえいえちごきゅうりょうこうえん）は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境や交通条件のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく、全面開園に向け里山フィールドミュージアムの未開園区域の整備を進めています。

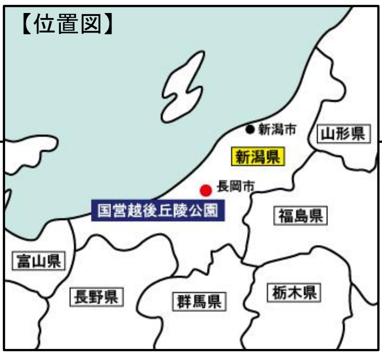
整備効果

平成10年7月の開園（29ha）以来、平成15年度までに「健康ゾーン」（約120ha）を全面開園し、令和7年9月の「かわべの里」（35ha）の部分開園を含め、現在までに「里山フィールドミュージアム」の森のめぐみの里等を除く区域（全体約280haの内、西側部分約255ha）を開園しています。

平成10年の開園からこれまで、累計で1,000万人超える方々にご来園いただいています。また、災害時の避難地確保や自衛隊との協定による救援活動の場の確保など広域的な防災拠点として地域防災力強化に寄与しています。

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、未開園エリア（森のめぐみの里）の基盤整備等を推進し、新たな公園の魅力創出を図ります。



森のめぐみの里整備イメージ

上越地方合同庁舎　屋上防水改修・空調設備改修

新潟県上越市

R7補正事業費
43百万円

事業の概要

上越地方合同庁舎は、建築から３４年が経過し、屋上防水及び空調設備について経年による劣化が見られることから早急に改修を行う必要があります。

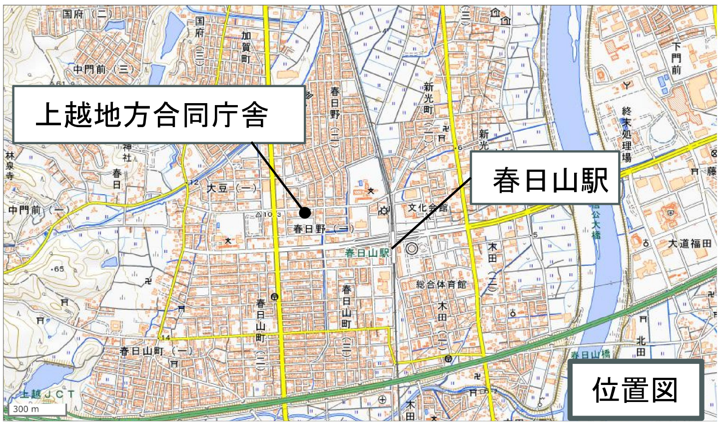
整備効果

屋上防水改修を行うことで屋上からの漏水を未然に防ぎ、水損事故等を防止することができます。また、老朽化した空調設備を更新することにより、適切な執務環境を確保することができます。

令和７年度補正予算の事業内容

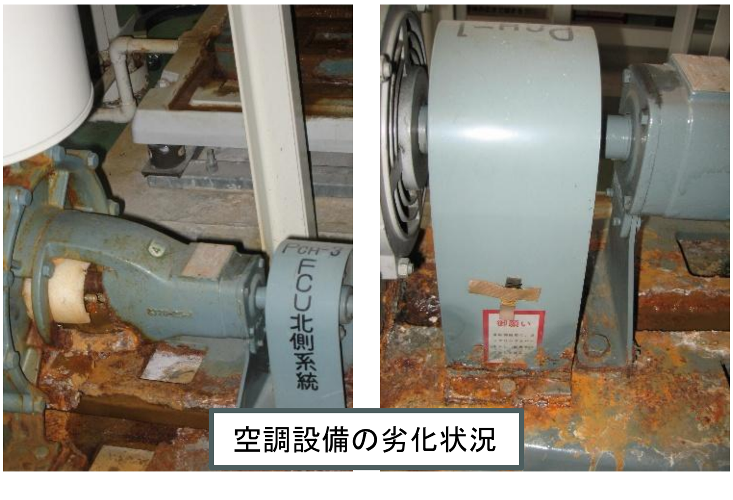
補正予算の充当により、上越地方合同庁舎の屋上防水改修・空調設備改修を実施します。

建物外観



位置図

屋上の劣化状況



空調設備の劣化状況

荒川水系緊急治水対策プロジェクト（あらかわ）
(烏川・春木山大沢川)の推進（からすがわ・はるきやまおおさわがわ）
新潟県村上市（にいがた むらかみ）

R7補正事業費
600百万円※

※春木山大沢川の河川災害復旧等関連緊急事業費のR7補正全体事業費

事業の概要

荒川（あらかわ）水系春木山大沢川（はるきやまおおさわがわ）は、令和4年8月豪雨により、床上浸水626戸、床下浸水570戸、田畑浸水229haの甚大な浸水被害が発生しました。上流側で災害復旧助成事業を実施することと合わせ、下流側においても河川災害復旧等関連緊急事業を実施し、上下流一体となって河道拡幅、護岸工、橋梁架替等の河川整備を推進することにより、浸水被害を軽減させ、早期に地域の安全性の向上を図ります。

「荒川（あらかわ）水系緊急治水対策プロジェクト(烏川（からすがわ）・春木山大沢川（はるきやまおおさわがわ）)」の概要

〇以下の３つを柱として取り組んでいきます。

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

②被害対象を減少させるための対策

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

関係機関が連携し、上記の３つの取組を実施し、令和４年８月出水と同規模の洪水に対し、浸水被害の軽減を目指します。

整備効果

河道拡幅、護岸工、橋梁架替の実施により、治水安全度を向上させます。

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、河道拡幅、護岸工及び橋梁の架替を推進します。

戸地(とじ)海岸高潮対策事業の推進

新潟(にいがた)県佐渡(さど)市

R7補正事業費
90百万円

事業の概要

戸地(とじ)海岸は佐渡島の北西部の外海府(そとかいふ)海岸南側位置し、背後には県道佐渡一周線や人家が存在している。風浪時には、越波による被害をたびたび受けており、特に2012年4月の風浪では家屋の浸水被害が発生しました。

このことから、人家や県道への越波・浸水被害を防止するため、離岸堤の整備を進めています。

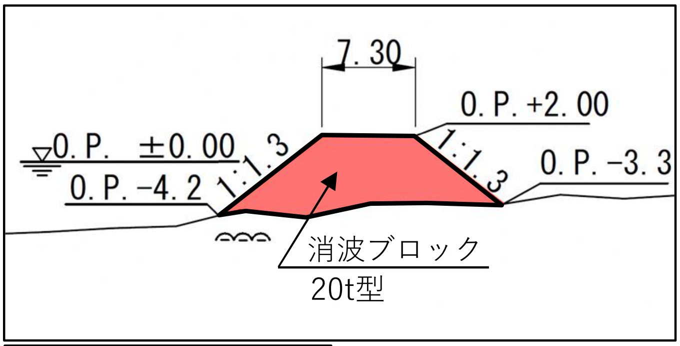
整備効果

離岸堤の整備により、護岸前面の波高を低減させるとともに、越波による浸水被害の軽減が図られるようになります。

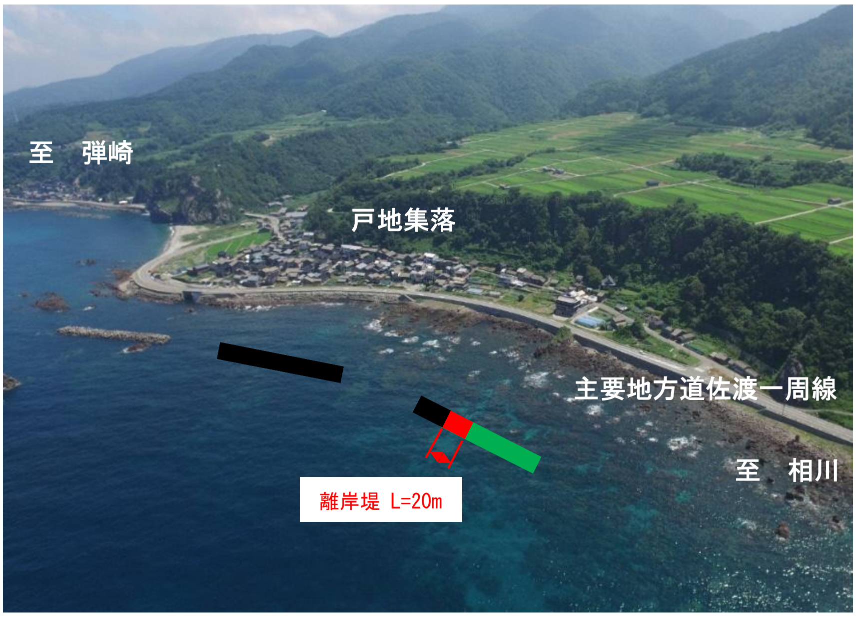
令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、
離岸堤の整備を推進します。

断面図



戸地海岸（整備中）



風浪による被害状況

2012年4月撮影

凡　例
- 黒 :令和7年度当初以前
- 赤 :令和7年度補正実施
- 緑 :令和8年度以降

胎内川総合開発事業の推進

新潟県胎内市

R7補正事業費
1,784百万円※

※胎内川総合開発事業のR7補正共同費

事業の概要

二級河川の胎内川流域では、昭和41年と42年の2年連続にわたり大きな水害が発生しています。胎内川下流域では工場進出や市街化が進み資産が集中していることから、抜本的な治水対策が求められています。また、胎内川は水辺に棲む多様な動植物を育み、流域の耕地や水道用水の重要な水源となっていますが、幾度となく渇水に見舞われています。さらに、水量が豊富な時期には、クリーンエネルギーの開発による水資源の有効活用が期待されています。

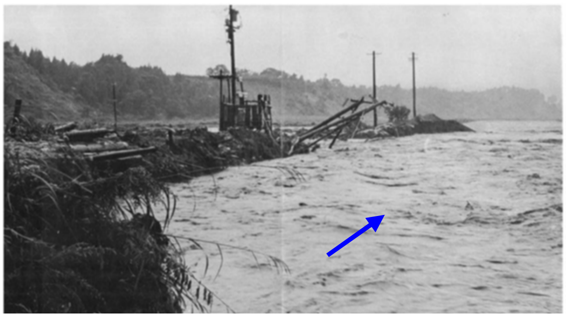
このため、新潟県では胎内川上流において「洪水調節」「流水の正常な機能の維持」「水道用水の確保」「発電」を目的とし、奥胎内ダムの建設および既設胎内川ダムの改造を令和12年度の完成を目指して進めています。

整備効果

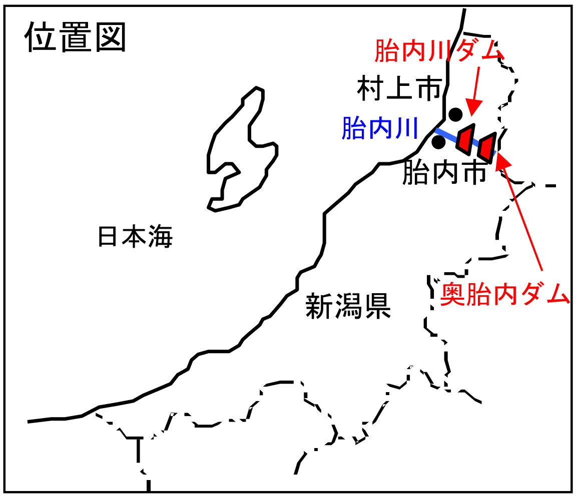
奥胎内ダムの建設および既設胎内川ダムの改造により、胎内川下流域の洪水被害の軽減、既得農業用水や水道用水の安定化、発電による水資源の有効活用、河川環境の保全等が図られるようになります。

令和７年度補正予算の事業内容

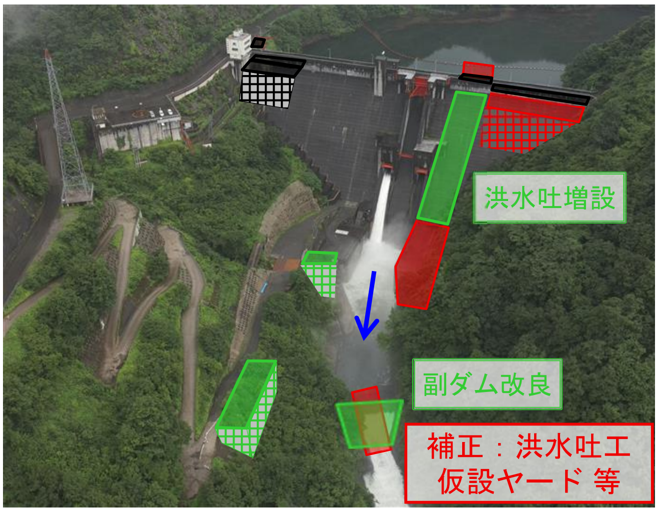
補正予算の充当により、
ダム洪水吐の増設工事を推進します。



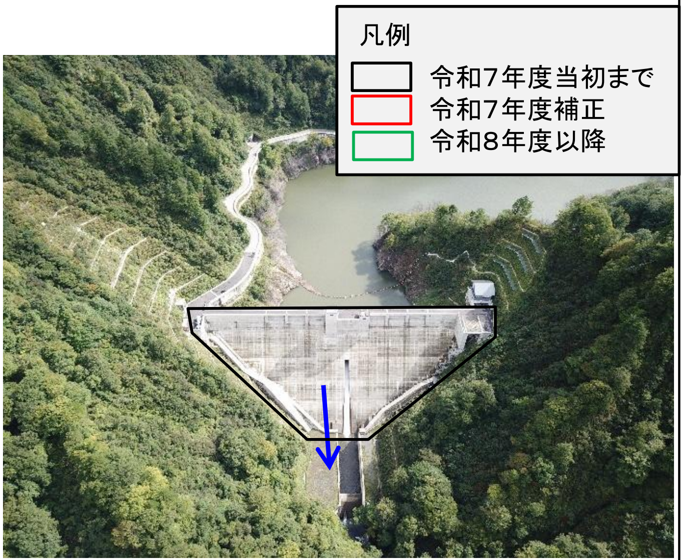
昭和42年羽越水害（旧黒川村熱田坂地内）



胎内川ダム（洪水吐増設工事中）



令和７年度補正により洪水吐増設を推進



奥胎内ダム（平成31年3月完成）

新潟県ダムメンテナンス事業の推進

新潟県(にいがた)村上市(むらかみ)　他

R7補正事業費
601百万円

事業の概要

　新潟県においては、管理移行後30年以上超過しているダムが大半であり、放流・取水設備、ダム管理用制御処理設備、情報収集設備等が老朽化しており、設備が故障又は不具合が発生した場合、ダム管理・防災情報等に支障が生じるため、設備の改良を行うことにより、ダムの機能の回復又は向上を図る必要がある。

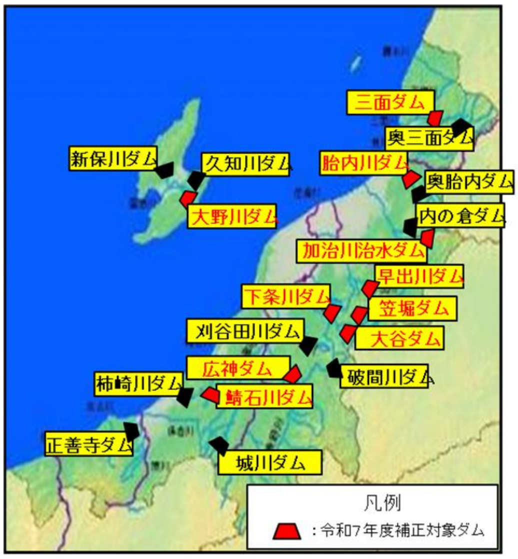
整備効果

　計画的なメンテナンス事業の実施のため、鯖石川(さばいしがわ)ダム、加治川治水(かじかわちすい)ダム、下条川(げじょうがわ)ダム等10ダムにおいて、長寿命化計画に基づく改良により、効果的・効率的なダム管理の実現を図る。

令和７年度補正予算の事業内容

　補正予算の充当により、新潟県が管理する補助ダムの機能回復又は向上を推進します。

位置図



放流警報設備の改良
（大谷(おおたに)ダム、下条川(げじょうがわ)ダム、笠堀(かさぼり)ダム）

貯水池の堆砂対策
（鯖石川(さばいしがわ)ダム）

ダム管理用制御処理設備（ダムコン）の改良
（鯖石川(さばいしがわ)ダム、広神(ひろかみ)ダム）

信濃川流域（十日町地区）大規模特定砂防等事業の推進

新潟県十日町市他

R7補正事業費
196百万円

事業の概要

　信濃川流域（十日町地区）において土砂・洪水氾濫が生じる危険性が著しく高く、流域全体で計画的・集中的な対策を実施することにより、早期に安全度を向上させることを目的とする。

整備効果

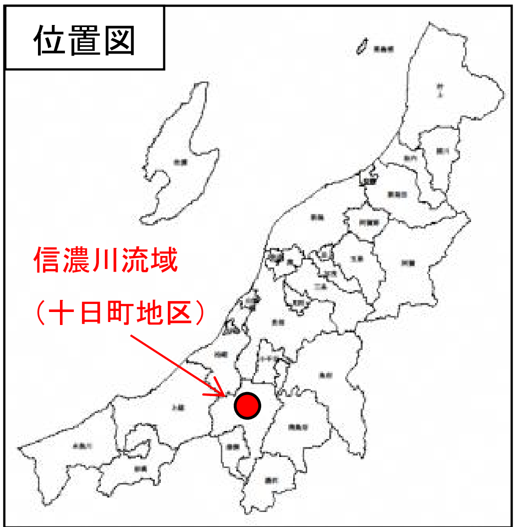
　砂防堰堤工および地すべり対策工、急傾斜地崩壊対策工を実施することにより、土砂災害等から人命及び資産等を保全し、流域全体の安全・安心の向上が図られる。

令和７年度補正予算の事業内容

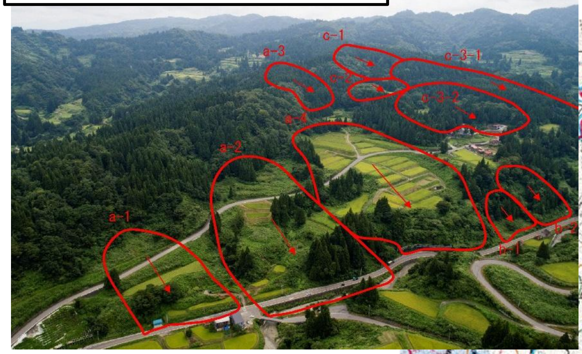
　補正予算の充当により、みだれ川他における土砂災害に対する事前防災対策を推進します。

みだれ川（砂防）

位置図



椌木地区（地すべり）



［上越魚沼（じょうえつうおぬま）地域振興快速道路］

国道２５３号　三和安塚（さんわやすづか）道路事業の推進

新潟県上越市（にいがたけんじょうえつし）

R7補正事業費
130百万円

事業の概要

上越魚沼（じょうえつうおぬま）地域振興快速道路は、上越（じょうえつ）地域と魚沼（うおぬま）地域を連絡し、災害に強い広域ネットワークの形成を図る高規格道路です。

三和安塚（さんわやすづか）道路は、現道の狭小幅員及び主要渋滞箇所を解消し、物流の効率化及び地域間交流の支援を目的とした、上越（じょうえつ）市三和（さんわ）区本郷（ほんごう）から同市安塚（やすづか）区松崎（まつざき）に至る延長約９．４ｋｍの道路事業です。

整備効果

・北陸新幹線駅（上越妙高（じょうえつみょうこう）駅）及び重要港湾（直江津（なおえつ）港）へのアクセス向上
・冬期も含めた災害に強い道路ネットワークの形成
・第三次救急医療機関へのアクセス向上

令和７年度補正予算の事業内容

三和安塚（さんわやすづか）道路では、現在、上越（じょうえつ）市浦川原（うらがわら）区山本（やまもと）から同市安塚（やすづか）区松崎（まつざき）間の暫定２車線開通済み約４．７ｋｍを除く、延長約４．７ｋｍにおいて、改良工事、橋梁上下部工事を推進しています。

補正予算の充当により、上越（じょうえつ）市三和（さんわ）区地内における改良工事を推進します。

新潟市長寿命化修繕計画
道路メンテナンス事業の推進

新潟県新潟市

R7補正事業費
713百万円※1

※1:道路メンテナンス事業（新潟市橋梁長寿命化修繕計画）のR7補正全体事業費

事業の概要

（代表事例）

一般国道４０２号 獅子ヶ鼻大橋は、昭和49年（橋齢51年）の架橋から老朽化が進み、早期に措置を講ずべき状態となっています。

獅子ヶ鼻大橋は主桁の劣化が著しく進行していることから、主桁等の補修工事を推進することで、緊急輸送道路の機能強化や地域防災上の安全、安心の確保を図るとともに、予防保全型メンテナンスへの早期転換を図ります。

整備効果

・安心・安全な通行の確保
・緊急輸送道路の安全性強化

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、一般国道４０２号 獅子ヶ鼻大橋において、橋梁補修工事を推進します。

損傷状況

至 長岡市内

全景（獅子ヶ鼻大橋）

新潟県通学路緊急対策推進計画
交通安全対策（通学路緊急対策）事業の推進

新潟県南魚沼市

R7補正事業費
1,561百万円※1

※1:交通安全対策事業（通学路緊急対策）のR7補正新潟県全体事業費

事業の概要

令和３年６月に千葉県八街市で発生した交通事故を受けて実施した、通学路合同点検に基づき抽出された危険箇所について、ソフト対策の強化とあわせて交通安全対策を行い、通学する児童の安全な通行空間を確保する事業です。

整備効果

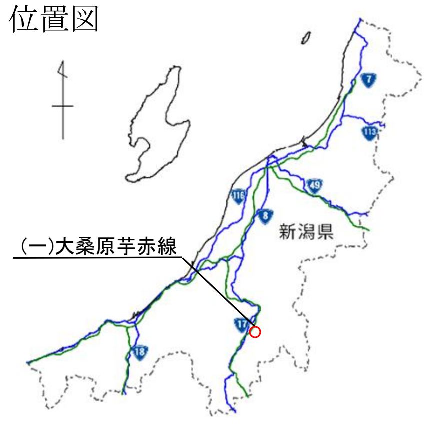
・通学路の安全性強化
・安心・安全な通行空間の確保

令和７年度補正予算の事業内容

（代表事例）

補正予算の充当により、一般県道大桑原芋赤線において、歩道整備を推進します。

位置図



新潟港(にいがた) 西港区(にしこう)
岸壁改良事業の促進
新潟(にいがた)県新潟(にいがた)市

R7補正事業費
200百万円

事業の概要

新潟港(にいがた)西港区(にしこう)は、我が国最大の離島である佐渡島(さど)（両津港(りょうつ)）との離島航路や長距離フェリーが発着するなど人流・物流の拠点として重要な役割を担っています。

両津港(りょうつ)との間に就航するカーフェリーが利用する岸壁（水深7.5m）は、供用開始から50年近くが経過し、鋼管杭等の腐食など老朽化が進行していることから、抜本的な対策が必要となっています。

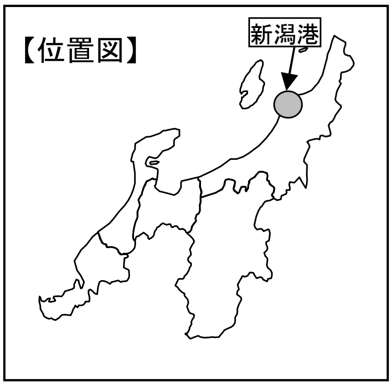
老朽化対策を行い、離島である佐渡島(さど)との物流機能を確保できるよう、岸壁の改良を促進します。

整備効果

岸壁改良を行うことにより、人流・物流機能が維持されます。

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、岸壁の改良を促進します。



姫川港 西ふ頭地区 国内物流ターミナル整備事業の促進

新潟県糸魚川市

R7補正事業費
100百万円

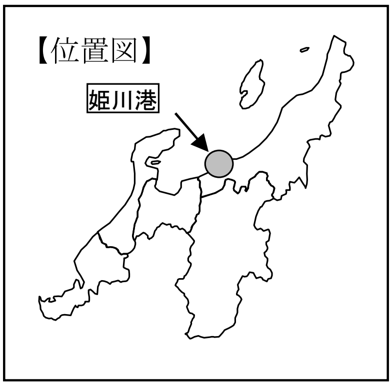
事業の概要

姫川港は、背後に位置する黒姫山一帯の良質な石灰石を活用した化学工業、セメント製造業等の国内物流の拠点として重要な役割を担っています。

船舶の大型化、取扱貨物の増加に対応するため、国内物流ターミナルの整備を促進します。

整備効果

ターミナルの整備に伴い大型船舶が入港可能となり、海上輸送費用が削減されることで、地域産業の競争力強化を図り、地域経済の安定と発展につながります。

令和７年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、岸壁の整備を促進します。